

被ばく低減対策好事例集

場所		分類		Y 3	番号	01-13
原子炉建屋内	RB	1	時間			
タービン建屋内	TB	2	距離			
R ZONE	R	3	遮へい			
Y ZONE	Y	4	線源の除去			
G ZONE	G	5	遠隔、ロボット化			
その他 ()	Z	6	汚染拡大防止			
		7	その他			

内容: ロボットを使用した1/2号機排気筒解体

作業部位: 1/2号機 原子炉建屋外

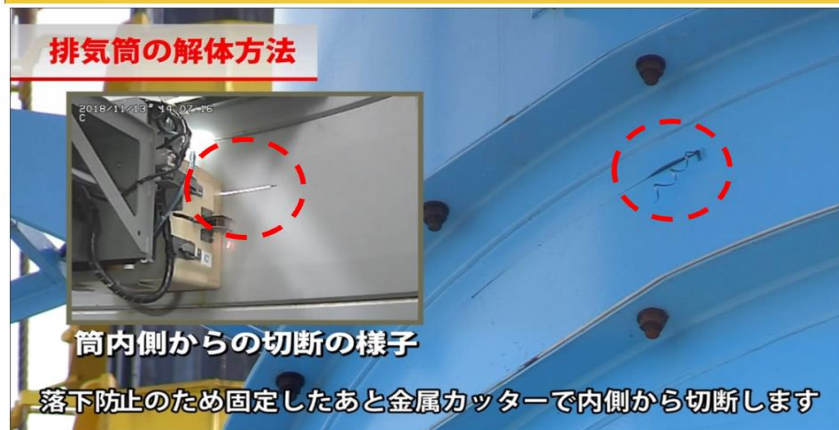
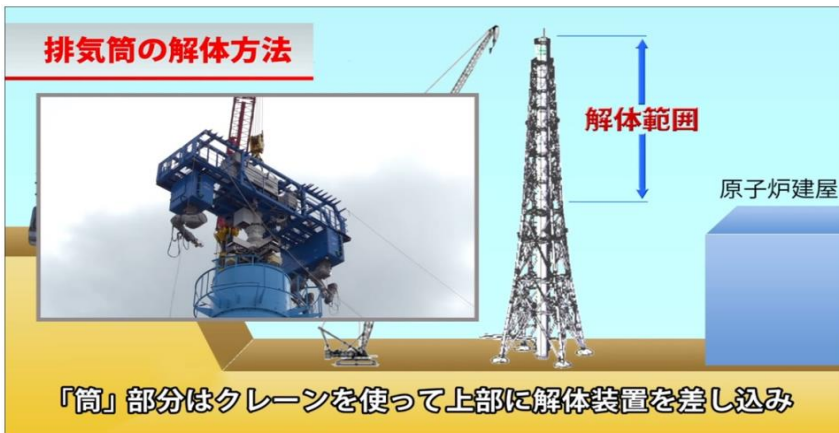
概略: 1/2号機排気筒解体にあたり、遠隔式解体ロボットを採用するとともに、ロボット点検エリア周辺に移動式衝立を設置し、被ばく低減を図った。

評価 ① 定性・定量	効果	対策前		対策後	
		線量率(mSv/h)	0.7	0.01	
		人工数(人日)	--	--	

事例詳細

対策前 解体ロボット点検エリアの線量率は、~0.7mSv/hであった。

対策内容 移動式の衝立遮へいを設置することにより、作業内容により自由に移動でき、追加の遮へいも自在になった。



写真：移動式遮へい衝立